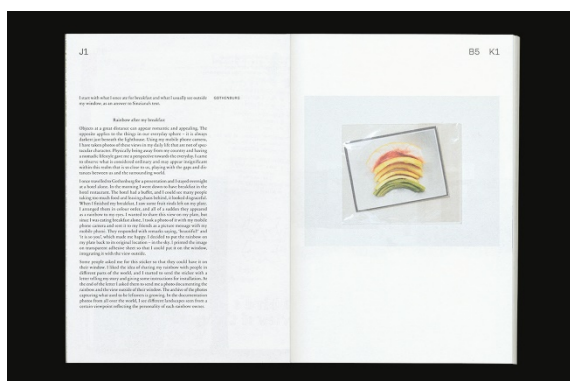


# KIITO: KIITO アーティスト・イン・レジデンス 2017 石塚まこ スタート!

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。

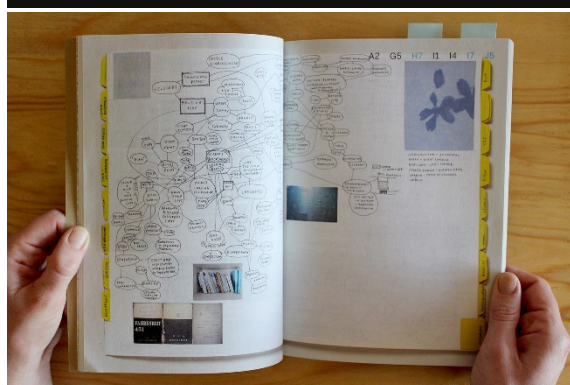
この取り組みの一環として、次のとおりプログラムを開催いたしますので、ご案内申し上げます。



2017年度のKIITOアーティスト・イン・レジデンス招聘作家として、現代美術作家の石塚まこ氏を迎えました。

神戸出身の石塚氏は、2000年からは海外に拠点を移して活動を続けています。常に「よそ者」、「外国人」として位置づけられる社会の中で、自身の背景にある文化と現地の文化の間で揺れながら、その日常の中にある心理・物理的な距離を見つめ、作品に表現してきました。そのかたちは視覚芸術に限らず、随筆や人との対話や協働から生まれる関係性、その過程を視覚化するプロジェクトなど多様なメディアを用いて表現を試みています。また、近年は、人と人をつなぐ媒体としての「食」に注目し、食にまつわる文化を扱ったプロジェクトや作品も手がけています。

離れて17年になる郷里・神戸での滞在制作となる今回は、海外で移民として過ごす視点から、まち歩きや人との対話を通して神戸の文化や歴史、現在のまちの様子などを観察、自分の辿った道のりとの交差点を見つけて作品化し、今年9月下旬～10月にデザイン・クリエイティブセンター神戸で開催予定の成果発表展にて公開します。詳細が決定次第、改めてご案内いたします。どうぞご期待ください。



『Collecting Distances』 2015年、アーティストブックの制作および流通プロジェクト

## 開催概要

KIITO アーティスト・イン・レジデンス 2017 石塚まこ

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

| 滞在制作 (予定) | 2017年5月3日 (水曜) ~6月20日 (火曜)、9月中旬~10月

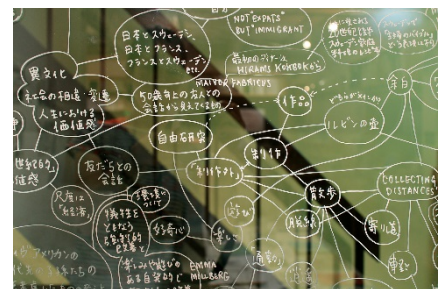
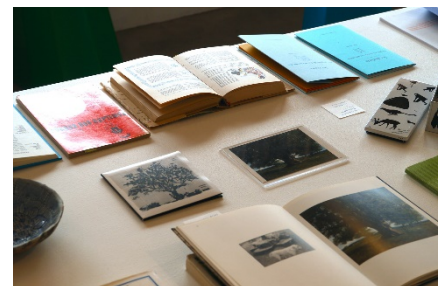
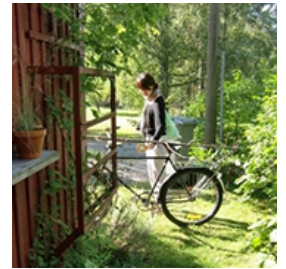
お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当 住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4

開館時間 | 9時~21時 入館料無料 休館日 | 月曜 (祝日または振替休日の場合はその翌日) WEB | <http://kiito.jp/>

参考 | 作家資料

石塚まこ (いしづか・まこ) <http://www.makois.com/>

現代美術作家。1974年神戸市生まれ。ストックホルムおよびパリ在住。1997年神戸女学院大学、2003年リートフェルト・アカデミー（オランダ）、2005年マルメ・アート・アカデミー（スウェーデン）卒業。ストックホルム、パリを拠点に、IASPIS(スウェーデン)、Capacete(ブラジル)、Schleisinger Stiftung(スイス)などのレジデンスを通して各地の生活を経験しながら制作する。2015年にはアーティストブック『Collecting Distances』を出版。「どうしてみんな、花がすき？」(2016年、まつだい「農舞台」ギャラリー、新潟)、「Art Meets 03」(2016年、アーツ前橋、群馬)、「The New Vision」(2015年、ポーラ・ミュージアム・アネックス、東京)など、近年は日本での発表も増えている。



『自由研究とルビンの壺』 2016年、インスタレーション（東京・ユトレヒトでのインスタレーション風景）



『「社会へのステレオスコープ」シリーズ Pure Diffusion』、2015-2016年、都市風景・社会への介入プロジェクト（大気と霧気圏の浄化）

---

(パリ・Indice 50でのインストール風景)